

世界に誇れるジェンダー平等社会を宮城から

203050 シンポジウム IN 宮城



連合宮城は、連合の「国際労働運動」を踏まえ、グローバルな視点や規模を意識するとともに、国内や地域におけるジェンダー平等の推進や女性活躍、多様性の尊重・理解促進などに積極的に取り組み、さらなる労働運動の推進に向けて視野を広げるシンポジウムを以下のとおり開催した。

会場の仙台国際センターには、ほぼ事前の参加報告の通り、構成組織の組合員や事業団体等の関係者など843名が参加し、女性の参加率 35.3%となり、三部構成の内容で充実し且つ有意義なシンポジウムとなった。

●日時 2024年7月27日(土)13:30～17:30 ●場所 仙台国際センター 大ホール

●次第・プログラム等

《総合司会》 渡辺 祥子 氏

(1)主催者代表挨拶 連合宮城 会長 大黒 雅弘

(2)来賓挨拶 日本労働組合総連合会 副事務局長 井上 久美枝 氏

(3)【第1部】特別講演 「よろこびを力に…」 講師：元プロマラソンランナー 有森 裕子 氏

(4)【第2部】基調講演 「ジェンダー平等と国際労働運動」 講師：国際労働組合総連合 会長 郷野 晶子 氏

(5)【第3部】パネルディスカッション 「テーマ：誰もが活躍できる社会とは」

コーディネーター：ILO駐日事務所 代表 高崎 真一 氏

パネリスト：井上久美枝 連合本部副事務局長、有森裕子 氏、岡本あき子衆議院議員、大黒雅弘連合宮城会長

●閉会：連合宮城 事務局長 佐竹 一則

主催者を代表し大黒会長は、「皆さんから力をいただき、ジェンダー平等の社会を宮城から発信していきたい。自らが責任を持ち、偏見や差別をなくし、経済構造のみならず社会的使命として実証することが、ジェンダー平等のよりよい未来につながる」と挨拶。また来賓として、連合本部井上副事務局長からは、「今回のシンポジウムを通じて、ジェンダー平等社会の実現に向け、一つひとつ取り組みを前進いただくことを期待したい」と連帯の挨拶があった。

第1部では、元プロマラソンランナーとして活躍し、現在、国際オリンピック委員会 (IOC) Olympism365 委員会委員などを務めている有森裕子氏より、「よろこびを力に…」と題して、ご自身の経験から、固定観念を無くし諦めなければ人間はなんでもチャレンジし変えていけるといった講演をいただいた。

第2部では、U Aゼンセンの出身で、現在は国際労働組合総連合 (I T U C) で女性初の会長を務めている郷野会長をお招きし、労働に関する世界との考え方の違いや世界の労働情勢、女性参画の歩みなどについて解りやすく説明をいただき、「ジェンダー平等・女性参画に取り組むことは、結果として働き方の改善・働きやすい環境づくりにつながる」とのお話があった。

第3部では、ILO駐日事務所の代表を務める高崎真一氏をコーディネーターに特別講演をいただいた後、「誰もが活躍できる社会とは」と題してパネルディスカッションを行った。

最後に連合宮城佐竹事務局長より、本日の参加者一人ひとりがジェンダー平等の意識を持ち、広く波及させることをお願いし閉会の挨拶で締めくくった。

203050シンポジウム スナップ



《来賓》 井上副事務局長



《特別講演》 有森裕子氏



《基調講演》 郷野会長



《ハネルディスカッション》 高崎代表



「政治学習会」および「推薦状交付式」を開催！

連合宮城は、8月20日(火)ハーネル仙台において、連合宮城「政治学習会」および第50回衆議院選挙に係る「推薦状交付式」を開催した。

主催者挨拶として大黒会長は、「人口減少社会により様々な課題が拡大し、これらに効果的に対応するためにも政治力が鍵となってくる。しかし、自民党政権における政治とカネの問題によって、国民の政治への不信感が高まるばかりである。岸田首相の次期総裁選不出馬のニュースでも、心に響くことはなかった。傲慢な政治を終わらせて、真に国民のための政治を取り戻さなければならない。働く者・生活者の立場で政権を担い得る政治勢力の拡大が今こそ必要である。連合が推薦する衆議院議員候補予定者の皆さんに私たちの声を託したい」と挨拶した。

政治学習会では、連合政治センター事務局 照沼局長を講師に招き「労働組合と政治活動」と題し講演をいただいた。講演では、労働組合と政治の関りや公職選挙法における禁止事項、近年増加するインターネットによる選挙運動の問題点などを紹介いただき、参加者全員で認識を深めた。

また、連合宮城第50回衆議院選挙の対応方針に基づき、「雇用と生活の安定」を実現するため、働く者の立場に立つ政治勢力の拡大をはかるとともに、「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す」の実現に向け、4名の候補予定者に推薦状を手交した後、各候補予定者より決意表明をいただいた。

結びに、連合が掲げる政策実現と推薦者全員の必勝のため、大黒会長の団結ガンバラウで締めくくった。



《講演》 照沼局長

- 日時 2024年8月20日(火) 18:00~19:30
- 会場 ハーネル仙台3階 蔵王
- 参加者 130名(うち女性17名)
- 内容 (1)開会 連合宮城事務局長 佐竹 一則
- (2)主催者挨拶 連合宮城会長 大黒 雅弘
- (3)政治学習会 講演:「労働組合と政治活動」 連合政治センター事務局 局長 照沼 光二様
- (4)推薦状交付式 衆議院宮城第1区:岡本あき子氏 衆議院宮城第2区:鎌田さゆり氏
衆議院宮城第3区:柳沢つよし氏 衆議院宮城第4区:安住 淳氏(秘書代理)
- (5)閉会 連合宮城事務局長 佐竹 一則



宮城第1区: 岡本あき子氏



宮城第2区: 鎌田さゆり氏



宮城第3区: 柳沢つよし氏



宮城第4区・安住 淳氏 ※秘書代行

連合宮城「2024平和集会」を開催！

連合宮城は、7月23日(火) 仙台市において、連合が6月～9月に設定して取り組む「平和行動月間」に合わせて、以下のとおり平和集会を開催した。連合宮城「2024 平和集会」は、連合が掲げる平和運動への理解を深め、世界の恒久平和の実現に向けた学習会や平和集会アピールの採択などを実施している。

集会開催に先立ち大黒会長は、「安心して暮らし、仕事ができ、そして安心して労働運動ができること。このことが社会的な平和の安心安全だ。一方で海外に目を向ければ、紛争や戦争で多くの方が命をなくしている。本日は仙台空襲を切り口に学び、後世につないでいきたい。第二次世界大戦では、子どもなど民間人も含め日本は310万人の方が亡くなった。そういった意味でも、戦争は『悪』だということを皆さんとともに、そして連合全体で発信をし、同時に風化させない取り組みとして邁進をしていきたい」と挨拶した。

学習会では、仙台市戦災復興記念館でアドバイザーボランティアとしてご活躍の及川節郎氏にお越しいただき、「仙台空襲」について講演をいただいた。

つづいて今年の2024平和行動 in 広島ならびに長崎の派遣団を紹介し、それぞれの団長からは、「現地は酷暑が想定されるが体調管理に十分に留意しつつ、学習や集会も含め、見て、聴いて、肌身で感じながらしっかりと学んで帰ってきたい」と決意をいただき、広島行動派遣団へ連合宮城ならびに気仙沼地域協議会で作成した折鶴を預託し、平和集会アピール(案)を参加者全体で採択した。

最後に堀井副会長より、「平和なくして労働運動なし、この取り組みをずっと行っており、今年の沖縄全戦没者追悼式での、沖縄県立宮古高校3年生の仲間さんの『平和の歌』は、組合の平和運動に本当に通ずる詩と感じた。皆さんとともに宮城でぜひとも平和をつないでいきましょう」と閉会の挨拶で締めくくった。

なお、平和4行動（沖縄・広島・長崎・根室）については、根室での平和行動が終わり次第お知らせいたします。

- 日時 2024年7月23日(火) 18:00～19:30
- 場所 ハーネル仙台2階 松島
- 参加者 51名
- 次第 (1)開 会 連合宮城 菊池副事務局長
- (2)主催者挨拶 連合宮城 大黒会長
- (3)学 習 会 「仙台空襲」 講師：仙台市戦災復興記念館 アドバイザーボランティア 及川 節郎 氏
- (4)派遣団紹介 平和行動 in 広島・長崎
- (5)平和集会アピール採択
- (6)閉 会 連合宮城 堀井副会長



《講演》 及川 節郎 氏



《講演》 スライドの一部



会場の様子



広島派遣団



長崎派遣団



折鶴預託



《アピール採択》 岸 副事務局長

「宮城労働局雇用環境・均等室への要請行動」を実施!

連合宮城女性委員会は、6月の「男女平等月間」の取り組みとして、宮城労働局雇用環境・均等室長に「男女平等参画社会の実現に向けた要請」を行った。

要請には、連合宮城女性委員会より8名、雇用環境・均等室からは加藤室長他3名が出席した。

女性委員会を代表し佐藤事務局長は、「連合は、男女が均等な機会と待遇で、仕事と生活を調和させながら働き続けることのできる、『男女平等参画社会』の実現をめざしており、女性活躍をはじめ、すべての労働者がいきいきと働ける環境の整備・改善は引き続き重要な課題だと認識している。また、男女平等に加えジェンダー平等、性的指向・性自認への対応、仕事と不妊治療の両立などの課題も大きく取り上げられており、引き続き雇用環境・均等室とこのような場を通して意見交換をさせていただき、すべての労働者の処遇改善の促進、就業環境の整備に向けてまいりたい」と述べた。

その後、佐藤事務局長より加藤室長に要請書を手渡し、畠山事務局次長より要請内容について説明を行った。

加藤室長からは、「宮城において、しっかりと国の施策を進め、本日のテーマでもある女性活躍推進についても、連合の皆さまにご協力をいただきながら、しっかりと推進していきたい」と挨拶があった。また、要請への回答では「要請内容については上位機関に伝え、しっかり対応してまいりたい」との回答をいただいた。

なお、意見交換においては、6月の女性のための労働相談ホットラインでの相談対応等の紹介や、避難所備品選定における女性目線での対応の必要性、職場内におけるハラスメント定義の浸透への取り組み要望などを含め、活発な意見交換を行った。



- 日時 2024年6月17日(月) 16:15～17:00
- 場所 仙台第四合同庁舎2階 共用会議室
- 参加者 <宮城労働局雇用環境・均等室> 加藤明子室長、寺島室長補佐、高須賀室長補佐、加納監理官
<連合宮城女性委員会> 佐藤事務局長(情報労連)、畠山事務局次長(電力総連)、笠原幹事(U Aゼンセン)、清野幹事(自治労)、小畑幹事(自動車総連)
連合宮城 佐竹事務局長・岸副事務局長・多田事務局員(事務局)



佐藤事務局長挨拶



加藤室長へ要請書手交



加藤室長挨拶



畠山事務局次長

宮城県の最低賃金がかわります!

宮城県の地域別最低賃金は2024年10月1日より次のとおり改訂されます。

1時間あたり**50円**引き上げられ

973円(時給)



さらに、深夜の時間帯(午後10時～午前5時)に勤務した場合は25%が加算され、1時間あたり

1,216円(時給)

最低賃金は、働くすべての人に賃金の最低額を補償する制度です。
年齢やパート・学生アルバイトなどの働き方の違いにかかわらず、すべての労働者が適用となります。